

## 中学校の部活動についての質疑を行いました

2026年度(来年の夏頃)を目標に現在、芦屋市の3つの中学校(山手、精道、潮見中学校)で部活動の地域移行に向けての準備が進められています。

部活動の地域移行とは、これまでは学校で行われていた部活動を地域が主体となって運営する地域クラブ活動に移行する取組みです。即ち実施主体となるのが地域のスポーツクラブ、文化団体、民間企業などの地域の様々な主体が活動を運営します。

部活動の地域移行による動きは、教員の働き方改革による負担軽減、部活動指導の専門性向上、生徒の選択肢拡大などの背景があります。

### ★地域移行のメリット

- 生徒の選択肢の拡大
- 住民参加による地域全体の活性化
- 教員の負担軽減等

### ☆地域移行の課題

- 指導者、活動場所の確保
- 費用負担における問題
- 責任の所在等

近隣の神戸市や西宮市も部活動の地域移行への取組みも開始されています。

**質問 1** 部活動の地域移行に対してどのように考えているのか。

**回答** 今まで行われてきた学校内での部活動の形を変えて、地域移行により多様なニーズに応えていきたい。

**質問 2** 地域クラブ活動の提供ができる団体は、現在どのくらいの団体数なのか？

**回答** 現時点では、まだ数の把握はしていない。※今後も継続して動向をみていきます。

**質問 3** 経済的理由で活動参加が困難な家庭への支援策や会費の補助制度はあるのか。

**回答** 現支援については、今後経済的な面を踏まえて検討していく。

### 私の考え

部活動の地域移行に対し、親御さんの送り迎えの負担や経済面での負担、そして指導者との良好な関係性の構築などまだまだ課題は多くありますが一つづつ課題が解決し、生徒が不安なく地域での活動が出来るように願っています。

### 原なつ子 連絡先

TEL-FAX 0797-35-1639 ✉ swimmer@ashiya.haranatsuko.com



◀ 公式ホームページ <https://haranatsuko.com/>  
ご意見やご相談など、ぜひお気軽にお聞かせください！

▼ SNSでも情報発信しております。  
Facebook, Instagram, X (旧Twitter), YouTube



# 原なつ子 2025年8月発行 市議会報告

芦屋市議会議員1期目 / 無所属 / あしや政風会

令和7年6月6日、第3回定例会が開催されました。今年で議員になり3年目に入りました。今後も日々の活動を大切にし、精一杯励んでいきたいと思っています。そしてより多くの市民の皆さまと出会い、芦屋に

ついての様々な思いや意見を話し合う機会を作っていきたいと考えています。議員1年目は、総務、2年目は、建設公営常任委員会の委員として務めて参りました。そして3年目の現在は主に教育、福祉が主体となる民生文教常任委員会の委員として審査に携わることになりました。皆さまどうぞ宜しくお願い致します。



民生文教常任委員会にて質疑

中学校の部活動については裏面へ

一般質問

防災意識の向上における取組 中面へ

一般質問

学校の水泳授業の在り方 中面へ

### 活動参加

2025年(令和7)

3/14(金) 精道中学校卒業式 参列

3/19(水) 宮川小学校卒業式 参列

4/6(日) 春日町桜まつり 参加、第37回芦屋さくらまつり 参加

4/11(金) 芦屋市立福祉施設みどり地域生活支援センター 訪問

5/18(日) 第22回芦屋市民スポーツ大会総合開会式 参列

6/22(日) 2025芦屋マリンセンターフェスティバル 参加



## 防災意識の向上における 取組について

**質問 1** これまでの防災総合訓練において、子ども達が参加できる避難ゲームや脱出ゲーム等のイベントに対する目的とは？

**回答:** 楽しみながら災害のリスクを知り、今後の対策、対応に活かしていただけるように体験型のイベントを中心に開催している。

**質問 2** スポーツ防災についてどのように考えているのか  
又、今後の市としての防災総合訓練の在り方とは？

**回答:** スポーツ防災についてもこれまで実施してきた防災訓練と同様、楽しみながら災害時に必要な行動や知識を獲得できる取組みだと考えている。今後の防災総合訓練では、体を動かし体験す

ることや家族で一緒に参加できるといった視点を取り入れ、発災時の避難方法など自ら考えていただき避難所開設訓練など実践的な訓練を中心に防災意識向上を目指して取り組む。



原なつ子の  
思い

要望として、イベントにおいては、親子そして様々な方たちと一緒に参加できる屋外での防災知識を問題にしたO×ゲームなどの提案を行い、実際に発災が起きた時を想定した防災総合訓練の実施をお願いしました。

## 学校のプール施設、水泳の 実技授業の在り方について



★他県、他市の小・中学校では近年、プールの老朽化や維持管理の負担、生徒の羞恥心の配慮などの要因によりプール施設の廃止や実技授業の取りやめなどの動きが見られている。そのような中、芦屋市でのプール施設やプールの実技授業の在り方についての質疑を行いました。

**質問 1** 市内の小・中学校におけるプール施設の今後の在り方について。

**回答:** 芦屋市では水泳の授業は必要であると考えている。現在のところは、既存のプール施設の利用を続けていく。

**質問 2** 泳ぎが得意な生徒と苦手な生徒に対し  
泳力の差がある中、どのように生徒への指導を行っているのか。

**回答:** ペアやグループ活動を中心に、子ども達同士の学び合いを取り入れるなどの工夫をしながら指導にあたっている。

**質問 3** 小・中学校それぞれの水泳のカリキュラムにおける目標  
及び内容に沿った指導はできているのか。

**回答:** 学習指導要領に沿った指導を学年ごとに定められた内容に従いながら適切に実施している。

原なつ子の  
思い

私の思いとして、子どもたちが楽しんでプール授業が出来るように今後も継続したプール授業の運営に努めて頂きたいと思っております。